

# モロッコ最高峰ツブカル山登頂と 世界遺産マラケシュ 9日間

アフリカ大陸北西部に連なるアトラス山脈の最高峰にして北アフリカ最高峰のツブカル山(4,167m)の登頂を目指します。1,740mから登り始め標高3,207mの山小屋に宿泊し2泊3日の行程で山頂を往復します。標高は4,000mを越えますが特別な登山技術は不要です。遊牧民が作った世界遺産の街マラケシュも探訪する、エキゾチックなモロッコの旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 8 (火)～9 / 16(水)	¥662,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在: 目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京またはカサブランカからカサブランカまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝6回、昼5回、夕6回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。マラケシュ/リヤド・パイア・ソフィアンまたは同等クラス
- 一人部屋利用追加料金: ¥32,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## アフリカ・モロッコ最高峰 ツブカル(4,167m)登山

アフリカ大陸北西部に連なるアトラス山脈の最高峰にして北アフリカ最高峰ツブカル山(4,167m)の登頂を目指します。1,740mから登り始め標高3,207mの山小屋に宿泊し2泊3日の行程で山頂を往復します。標高は4,000mながら特別な登山技術は不要です。遊牧民が創った「南の真珠」と称される世界遺産の歴史都市マラケシュの滞在もモロッコの旅の魅力です。



▲ムフロソ小屋に向かって谷沿いの山道を行く

## 北アフリカ最高峰 ツブカル山

モロッコ最高峰ツブカル山登頂は、アトラス山脈の稜線を辿る雄大な展望と達成感を味わえる山小屋泊4泊5日の行程で登る本格的ながら比較的挑戦しやすい高峰登山です。



▲北アフリカ最高峰のツブカル山

## ベルベル文化 体験

段々畑や山村、ラバ使いとの行動など、ベルベルの人々の暮らしや山と共に生きる山岳文化を身近に感じる滞在は単なる登山に終わらない記憶に残る魅力ある体験です。



▲山間の谷間広がる山村

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東内経由都市 着	夕刻、東京発→中東内経由都市へ。 機中泊
2	中東内経由都市 発 カサブランカ 着/発 マラケシュ 着	中東内経由都市で乗り継ぎ→カサブランカへ。 マラケシュへ。 機中泊
3	マラケシュ 発 ツブカル国立公園 着/発 ツブカル登山1日目 イディ・アイッサ村 着	アトラス山脈麓のイミウグラード村(1,450m)へ(約1時間)。現地登山スタッフと合流、荷物をラバに託し登山開始。緩やかな登り道を進み、ティジン・タシュト峠(約2,030m)からはツブカル山群の荒々しい稜線が姿を現します。午後、ジュンパー(ビャフシン)の森や小さな谷を下り、ツブカル国立公園内の静かな村イディ・アイッサへ。(徒歩約6時間) 機中泊
4	イディ・アイッサ村 発 ツブカル登山2日目 アジブ・タムスルト小屋 着	アズザデン深谷を奥へと進み、段々畑、遊牧民の小屋などベルベル人の暮らしが今も息づく風景が続きます。やがて標高約2,200mのティジ・ウスムを経て、さらに緩やかな登りアジブ・タムスルト小屋(約2,250m)へ(徒歩約6時間)。 機中泊
5	アジブ・タムスルト小屋 発 ツブカル登山3日目 ムフロソ小屋 着	アグルジム峠(約3,500m)を目指します。高度が上がるにつれ岩と空の世界へと変化していきます。峠からはツブカル山塊全体を見渡せ、その後、岩場を下りムフロソ山小屋(3,200m)へ(徒歩約6時間)。 機中泊
6	ムフロソ小屋 滞在 ツブカル登山4日目 ツブカル山頂往復	未明、ヘッドランプを点けてツブカル山頂を目指し出発。着実に高度を上げながら標高4,167mの山頂へ。サハラ方面のサグロ山地やシルワ山地まで見渡す圧巻の大展望を楽しんだ後、往路をムフロソ山小屋へ戻ります(徒歩約6時間)。 機中泊
7	ムフロソ小屋 発 ツブカル登山5日目 イムリル村 着/発 マラケシュ 着	往路をイムリル村に下山。マラケシュへ。着後、赤土の城壁に囲まれたこの街は「南の真珠」とも呼ばれ、スパイスの香りに包まれた活気ある色彩豊かな街並みや世界遺産ジャマ・エル・フナ広場などを散策。 機中泊
8	マラケシュ 発 カサブランカ 着/発 中東内経由都市 着	カサブランカの空港へ→中東内経由都市へ。 機中泊
9	中東内経由都市 発 東京 着	中東内経由都市で乗り継ぎ→東京着。 機中泊

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 迷宮都市 マラケシュに滞在

砂漠の遊牧民ベルベル人の貿易拠点として繁栄した世界文化遺産の旧市街ではスークやジャマ・エル・フナ広場など、色彩と喧騒に満ちたイスラム都市文化を体験します。



▲賑わうマラケシュの旧市街

## 山と砂漠文化が 交差する

ヨーロッパ、アフリカ、アラブ文化が融合するモロッコ。高山登山と異文化体験を一度に楽しめる他にない冒険の旅は古代から砂漠を旅した商人達の奥深い伝統と文化が舞台です。



▲砂漠の文化も感じる旅